

高次脳機能障害

—当事者、家族、そして支援者の方々に—



絵・石井一隆(当事者)

なごみだより

令和7年度初夏号(第44号)

とちぎ高次脳機能障害友の会 2025.6.15 発行

高次脳機能障害友の会 事務局
TEL 090-8726-5007 FAX 028-638-4322
e-mail info@tochigikoujinou.sunnyday.jp
URL <http://tochigikoujinou.sunnyday>



この会報誌は、赤い羽根共同募金の助成金により発行しています。



はじめに

若葉の緑が目には鮮やかな季節となりました。皆さまにおかれましては、日々の暮らしの中、それぞれに工夫を凝らし、ご尽力のことと存じます。

先日 5 月 24 日に開催いたしました、とちぎ高次脳機能障害友の会定期総会・学習会に際しまして、ご多忙の中、多数の皆さまにご出席いただき、誠にありがとうございました。皆さまの温かいご理解と建設的なご意見のおかげで、大変有意義な総会・学習会となりましたことを、心より感謝申し上げます。

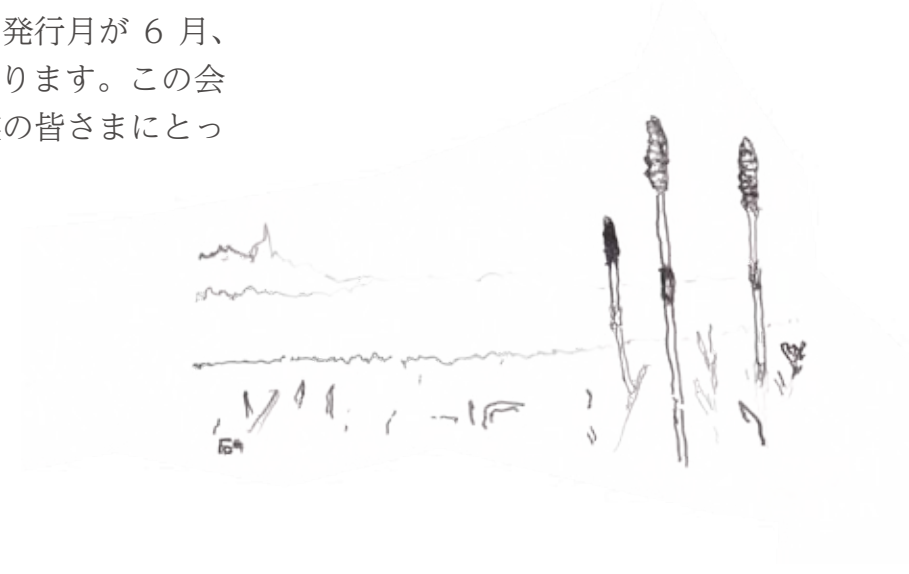
今年度より、会報誌の発行月が 6 月、10 月、2 月に変更になります。この会報誌が、当事者・ご家族の皆さまにとっ

て少しでも心の安らぎとなり、また、新たな情報や繋がりを見つけるきっかけとなれば幸いです。

皆さまのお手元にこの会報誌が届く頃は、梅雨真っ只中といったところでしょうか。季節のうつろいを楽しみながら、心と身体の健康も大切にしていきたいものです。

今年度も皆さまとの繋がりを大切に、温かな家族会を運営してまいります。

会長 徳元 昌子



目次

	ページ
はじめに.....	1
活動報告.....	2 - 4
2025 年 6 月から 2025 年 10 月の活動予定.....	4
< 栃木県障害者総合相談所より >	5
自費リハビリ施設（ロボケアセンター栃木）のご案内.....	6
とちぎ高次脳機能障害友の会【入会のご案内】.....	7

活動報告

クリスマス会

12月14日(土) フルーツダイニングパレット宇都宮美術館店 参加者34名

美術館周囲の森が見渡せる自然豊かな会場で、久しぶりにお会いする方々や新しく参加した方と近況を話しながらお食事し、なごやかなクリスマス会となりました。それぞれ持ち寄ったプレゼントを交換し、寄付でいただいたお菓子や手編みマフラーをどの色にしようかと選び、笑顔こぼれる楽しい時間を過ごすことができました。クリスマス会のあとは各々美術館を鑑賞したり、広場の中の彫刻を見たりして、アートに触れながらの帰宅となりました。(袖山)



クリスマス会のウエルカムボード



クリスマス会の様子

定例会

1月25日(土) 13:30~15:30 ぽぽら 参加者14名

ココワさんによるパソコン教室で、セキュリティ講座を実施していただきました。Google フォームを活用したり、スマホやパソコンの安全な使い方をクイズ形式で学んだりしました。中には難しい内容もあったかもしれませんが、普段自分ではトライしないことを体験する機会になったのではないのでしょうか。

ココワさんのパソコン教室は 10 回目を迎えました。ユーモアを交えながら、貴重な学びの場を作っております。継続したご協力に感謝致します。(大村)



パソコン教室の様子

定例会

2月1日(土)13:30~15:30 ぽぽら 参加者12名

ミニ運動会と題し、体を動かしレクリエーションを楽しみました。うちわでお手玉を投げたり、新聞紙をパタパタさせたりといったシンプルな動きからスタート。みんなワイワイ盛り上がりました。チーム対抗のピアポンでは、集中の中でピンポン玉をカップにめがけて投げます。個性が光る瞬間でした。最後の風船バレー也大盛り上がり。ふわふわ動く風船を目で追いながら、うちわでトスします。

寒い季節ですが、心も身体もほかほかあたたまった1日となりました。(大村)



新聞紙パタパタの様子



風船バレーの様子

定例会

3月8日(土)13:30~15:30 ぽぽら 参加者8名

椅子に座って体操や簡単なリズムダンスを行なった後、本年度の振り返りと次年度に向けてのお話し会をしました。

2025年度の定例会も、皆さんが安心して楽しく活動できる場を作っていきたいと思います。はじめての方もお久しぶりの方も大歓迎です。一緒に楽しい時間を過ごしましょう。お茶とお菓子をご用意してお待ちしています。ぜひお気軽にご参加ください。(大村)



お話し会の様子



総会・学習会

5月24日(土) 13:00~15:00 ぽぽら

令和7年度とちぎ高次脳機能障害友の会総会を開催しました。昨年度の活動報告等、今年度予算や活動予定等が決議されました。今年度の活動においても引き続きご協力のほどよろしくお願いいたします。

学習会は、高次脳機能障害のある方のための災害時初動行動マニュアル 本人・家族向けリーフレットを参考に防災のことを考える※東京都のマニュアル参考に実施しました。

防災時への備えや災害時の行動、高次脳機能障害の各々の症状について支援者に知ってほしい情報の提示など具体的に話し合いをしました。(袖山)

家族の集い 1月22日(水) 13:00~15:00 宇都宮中央市民活動センター 参加者7名
3月26日(水) 13:00~15:00 宇都宮中央市民活動センター 参加者6名

役員会 1月30日(火) 参加者5名 3月6日(火) 参加者5名 4月10日(火) 参加者6名

○ 電話相談	1月——4件	2月——2件	3月——6件
○ メール相談	1月——2件	2月——2件	3月——4件

その他の活動報告

令和6年(2024)年度栃木県発達障害及び高次脳機能障害ピアサポーターフォローアップ研修
3月17日(月) 13:00~15:00 参加者3名

赤い羽根共同募金分配金交付事務に関する説明会
4月4日(金) 13:30~14:45 Zoom 参加者1名

栃木県政出前講座
4月13日(日) 13:00~15:00 塩原温泉病院 ピアサポーター派遣2名
5月13日(火) 14:00~16:00 壬生町ケアマネジャー協議会 ピアサポーター派遣1名

2025年6月~2025年10月までの活動予定

6月 14日(土)	定例会	ぽ・ぽ・ら	13:30~16:00
7月 12日(土)	定例会	ぽ・ぽ・ら	13:30~16:00
7月 23日(水)	家族の集い	宇都宮市中央市民活動センター	13:00~15:00
9月 13日(土)	定例会	ぽ・ぽ・ら	13:30~16:00
9月	講習会	※日時等詳細は後日連絡します。	
10月	講習会	※日時等詳細は後日連絡します。	

高次脳機能障害支援事業を行っています



普及・啓発

高次脳機能障害の理解と支援のためのリーフレット・参考資料をご活用ください。



一般向け

「高次脳機能障害の理解のために」



支援者向け

「知って欲しい制度と社会資源」
「高次脳機能障害者支援マニュアル」



当事者・
ご家族向け

「高次脳機能障害を持つ方やその御家族の方へ」
「もしかしたら高次脳機能障害…かもしれません」（お子さん向け）



↑こちらから
ご覧いただけます。

令和7年度研修・セミナー等

「医療従事者等研修」

目的：医療従事者の知識及び支援技術の向上により、医療機関等における専門的な支援の充実を図る。

対象：医療関係の医療スタッフ、市町等の障害者相談担当職員等

時期：8～9月頃

「家族教室」

目的：障害のある方の家族が、障害への理解を深めるとともに、家族同士の交流を通して心の負担の軽減を図る。

対象：64歳までの高次脳機能障害と診断された方のご家族

時期：11～12月頃

「高次脳機能障害セミナー」

目的：「高次脳機能障害」を身近なこととして感じ、理解を深める。

対象：一般県民、当事者、家族、医療福祉関係者等

時期：1～2月頃

「相談支援研修」

目的：「高次脳機能障害」の特性や対応方法、支援の実際を学び、障害理解を深める。

対象：市町等の障害者相談担当職員、医療福祉関係者等

「県政出前講座」

内容：高次脳機能障害に関する基本的な理解と対応、県の取り組み等について

対象：一般県民、医療福祉関係者等

時期：随時（日程等はお相談ください。）

※勉強会や研修等にもご活用ください。

「ピアサポーターの派遣」

目的：高次脳機能障害者のご家族が経験等を伝えることで、心理的負担の軽減や障害の理解促進を図る。

対象：家族、当事者、医療福祉関係者、一般県民等

時期：随時（日程等はお相談ください。）

※勉強会や研修等にもご活用ください。



各研修・セミナー等は、内容が決まり次第掲載します。→
詳細はこちらからご確認ください。



相談支援

当事者やご家族、医療や福祉、教育等関係機関からのご相談をお受けしています。
高次脳機能障害に関することでお困りの際はご相談ください。



←詳細はHPでご確認ください。

栃木県障害者総合相談所 発達・高次脳機能障害支援課
TEL 028-623-6114
（受付時間：平日 8 時 30 分～17 時 15 分）



自費リハビリ施設(ロボケアセンター栃木)のご案内

体験談：私の息子は茨城県筑波市のロボケアセンターでロボットスーツ HAL を装着してリハビリをしています。開始当初は嫌がっていましたが、スタッフや利用者さんが温かく迎えてくれ、楽しく会話しながら歩行訓練しています。できることが増えてきて気持ちが前向きになり「無理ということはない」と言っています。栃木県内にも同様の施設ができましたのでご紹介しました。(S.S)

ロボケアセンターは CYBERDYNE 株式会社の開発した装着型サイボーグ HAL を使用した「Neuro HALFIT」という革新的な運動プログラムを提供する施設です。

HAL (Hybrid Assistive Limb) は、人の運動意思を反映した生体電位信号に基づき、人と一体化して機能する世界初※1 の装着型サイボーグです。

人が身体を動かそうとすると、指令信号が脳から神経を通じて筋肉へ送られ、その動作を実現するように筋肉が動きます。その際、微弱な「生体電位信号」が皮膚表面から漏れ出てきます。これを HAL が皮膚に貼ったセンサーで読み取り、「装着者の意思」に従い動きを実現します。

Neuro HALFIT では、身体機能の低下や病気の後遺症により、自力で立ったり、座ったり、歩いたり、腕を動かしたりすることが難しい方でも、自分の意思に従って動く HAL® のアシストによって運動を無理なく繰り返し行うことができます。

ロボケアセンターの専門のスタッフは、ご利用者様一人一人の身体状況に合わせたプログラムを提供し、目標達成のサポートをしてくれます。

実際の料金や時間などは下記の連絡先にお問い合わせください。

※1 特許第 4178186 号：装着式動作補助装置、装着式動作補助装置の制御方法および制御用プログラム



とちぎロボケアセンター

〒328-0061

栃木県栃木市新井町 1004-2

とちぎロボケアセンター 1F・2F

TEL：0282-21-7227

営業時間：9:00 ～ 17:00 / 休日：祝日

Web：https://t-robocare.jp

寄付のお願い —いつも大変助かっております—

引き出しの奥に眠っている古いハガキや切手、テレホンカード、また書き損じのハガキや年賀状などございましたら是非ご寄付下さい。切手や新しいハガキに交換して活動の一助にさせていただきます。

とちぎ高次脳機能障害友の会 入会のご案内

高次脳機能障害者（児）とその家族が悩みを話したり、医療や福祉に関する情報を交換したり、理解ある方々の支援の下一人一人の可能性を伸ばし、楽しみや生活の目標を見つけて地域の中で暮らすことができるよう活動しています。一人で悩まずに共に活動していきましょう。

高次脳機能障害のある方、ご家族、ご理解・ご支援くださる方、正会員または賛助会員として関わって一緒に活動していきませんか。応援してくださる方も賛助会員として随時募集しております。

【活動内容】

- ・ 定例会
- ・ 講演会 ・ 学習会
- ・ 会報誌(なごみだより)年3回発行
- ・ 家族相談会 ・ 家族の集い
- ・ 研修旅行 ・ クリスマス会 等



【主な活動場所】

ぱぽら

〒320-0032 宇都宮市昭和2-2-7

TEL 028-623-3455

※県庁西側 税務署北側

【ご相談や入会・見学希望の方は、
電話または e-mail でご連絡下さい。】

とちぎ高次脳機能障害友の会 事務局

会長 徳元

電話 090-8726-5007

e-mail info@tochigikoujinou.sunnyday.jp



ホームページはコチラから

とちぎ高次脳機能障害友の会

検索

URL <https://tochigikoujinou.sunnyday.jp/>

【年会費（一口）】

正会員(個人・家族・支援者) 3,000円

賛助会員(個人) 2,000円

賛助会員(団体) 5,000円

編集後記

梅雨の季節になり、体調を崩しやすい季節になりました。皆様体調はいかがでしょう？

会の活動の様子をお伝えすることができたでしょうか。楽しい催しや学びもありますが、その様子を写真や記事で掲載していますが、新しい情報や高次脳機能障害の体験記なども掲載できたら…と思っています、皆さまに役立つ情報を発信してい

きたいと思いますので、どうぞご協力を
よろしくお願いいたします。(袖山)

会報作成担当

表紙・絵： 石井一隆

本文編集： 柳美由紀 袖山寿美江

印刷・製本：(有) 芯和 Cocowa®